



こどもまんなかワークショップ

実施日

令和7年10月25日（土）

場所

湯本第一小学校 体育館

参加者

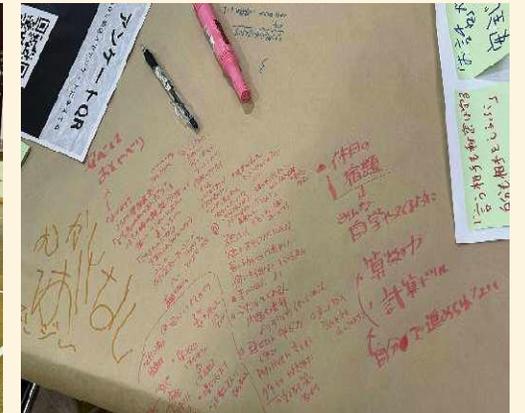
小、中、高校生、その他大人

参加人数

33名

テーマ

安心・安全とは





こどもまんなかワークショップってどんなところ？

何かを教えたり、
立派な意見を発表させたりする場所ではありません。

「学校のこと」「毎日の生活のこと」「ちょっと困っていること」
普段はなかなか言えない、あなた気持ちやアイデアを話したり聴いたり
するところです。

どんな人がいるの？ 怖くない？

否定せず、あなたの味方になって話を聴いてくれます。
まずはリラックスして過ごせる場であることを大切にしています。



何も話せないかもだけど参加しても大丈夫？

話せなくても大丈夫です。他の方の話を聴いたり、その場に一緒にいるだけでも、立派な参加です。

話したくないことまで聞かれたり、無理に最後までいなきやいけない？

言いたくないことは言わなくて大丈夫です。
理由も聞いたりしません。
ふらっと立ち寄ってみて、やっぱり帰ろうでも大丈夫です。

主な意見

(安心・安全だと感じる時)

- ・ 否定しない人、欠点も面白がってくれる人、だと安心して何でも話せる
- ・ たった一人でも話を聴いてくれる友人、大事にしようと思った
- ・ 安全に話せるのは、むしろ関わりの薄い人だったりする。“安心”と“安全”全てもっているひとはいないかも。
- ・ 家族に安心して話せることも、話せないこともある

〈話したいけれど話せないとき〉

- ・ クラスの雰囲気怖くて「どう思われているんだろう」と話せないことが多い
- ・ 悪口が多い人は、「私も陰で言われてるのかな」と不安を感じる
- ・ 言いふらしそうな人や内緒にできない人もいる。
- ・ 誰とも話していない子がいる。話かけるのに勇気がいる。
- ・ コミュ力がなくてなんて反応したら良いか解らなくて、へー、で終わってしまうことがもどかしかった。

【こうあってほしいこと】

- ・ 頭ごなしに「やだよ」じゃなく、ポジティブに言える人はいいと思う。
- ・ 愚痴は好きじゃ無いけど、言うなら笑いながら言って欲しい。

～ワークショップを終えて～

自分が話し手であっても、聞き手であっても、常に相手のことを思いやり、誰もがのびのびと発言できる空気感を大切にしていきたいと感じました。また、小中学生たちが持つ気づく力には驚かされることばかりで学ぶところが多い回でした。